



SHIN SAI BASHI  
心斎橋筋商店街振興組合

心斎橋筋商店街の活動をお知らせする  
情報 PAPER

心ぶら  
2013 Vol.2

活動報告と今後の動き

2012年10月 → 2013年3月

# より魅力ある心斎橋をめざし、 次のステージへ。

安心・安全で、また訪れたくなる魅力のあるまち・心斎橋をめざし、  
様々な仕組みづくりが着々と進んでいます。

皆様お一人ひとりの想いと一体感が、心斎橋筋商店街の明日をつくります。

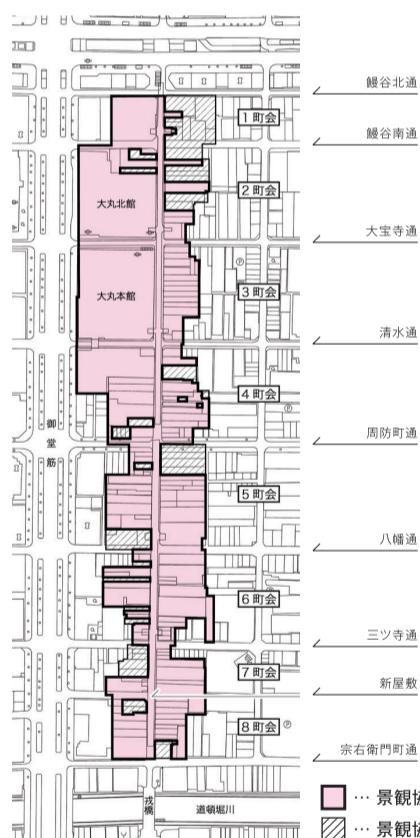
✿ 皆様のご協力に、改めまして深謝申し上げます。✿



## 2013年3月、「心斎橋筋景観協定」が 大阪市の正式認可を受けました。

### ■「心斎橋筋景観協定」対象区域

心斎橋筋の約600mの通り沿いの店舗を中心に、  
対象面積は約4万3,000m<sup>2</sup>となります。



心斎橋筋商店街は、「心斎橋筋景観協定」認可を2013年2月4日(月)、大阪市に申請。

同年3月29日(金)に、大阪市の正式認可を受けました。

国に景観法に基づく景観協定の正式認可は、商店街としては全国でも異例、

大阪市では第一号となります。

心斎橋筋商店街振興組合では、2007年度から大阪市の支援を受けて「心斎橋筋まちづくり推進協議会」を発足。

魅力あふれるまちづくりを目標に協議・検討を重ね、組合員様はじめ関係各位の合意を得て「心斎橋筋景観協定」を策定いたしました。

このたびの大阪市正式認可を受けまして、これまでの皆様方のご支援・ご協力に厚くお礼申し上げます。

本協定は、心斎橋筋の良好な景観を形成するために、派手な広告や風俗店の出店を規制するもので、認可日から10年間にわたり公的効力を有するものです。本協定の執行・運営のために「心斎橋筋景観協定運営委員会」を新たに設置し、心斎橋筋商店街振興組合竹田行彦理事長が委員長に就任、振興組合内に事務局を開設いたします。

全国でも異例の商店街としての景観協定は、心斎橋筋を愛する皆様の気持ちの結晶であり、心斎橋筋の洗練された気風を守り育てる自負や意識の高さをあらわすものだといえます。今後も、「心ぶら」するまち・したいまち。(心斎橋筋地区まちづくり宣言)にふさわしい“心斎橋筋ブランド”を継承・発展させるために、心斎橋筋らしい「美しいまちなみの整備」「にぎわいづくり」「安心・安全への対策」という3つのテーマから、心斎橋筋の価値向上に向けて邁進していきます。今後ともご協力のほどお願い申し上げます。



朝日放送の報道・情報番組「CAST」  
(3月15日(金)放映)で、  
紹介していただきました。



### ■「心斎橋筋景観協定」のおもな内容(抜粋)

#### 心斎橋筋の歴史・伝統を継承し、 にぎわいと安らぎに満ちた景観をつくる

- 良好的な景観をつくるため、風俗店などは出店できない
- アーケード内で総面積が建築物の壁の3分の1を超える広告、  
フラッシュが点滅する広告は出せない
- 協定に違反した場合、立ち退きや広告の撤去費を求めることができ、  
従わない時は裁判所に提訴できる

## 大阪あきないグランプリで「本福寿司」が 見事グランプリを獲得！

大阪あきないグランプリは、魅力的な店舗運営に取り組む店舗を发掘・表彰することで商店街のさらなる活性化をめざす大阪市主催の企画です。2012年11月28日(水)、4回目の開催となる大阪あきないグランプリの授賞式が行われ、心斎橋筋商店街からは、「本福寿司」が見事グランプリに輝きました。「本福寿司」はマーケティング部門でも優秀賞を受賞したほか、「焼きたてチーズタルト専門店 PABLO」も売れ筋商品・逸品部門において優秀賞を獲得しました。

マスコミや大阪市広報にも取り上げられ、日頃の商売の成果を問うまたとない機会です。夏に応募書類を提出し、審査を経て秋に受賞店が決定します。自薦他薦ともOKですので、今年はぜひ貴店も手を挙げてみませんか？

グランプリ 大阪市長賞

本福寿司

優秀賞《売れ筋商品・逸品部門》

焼きたてチーズタルト専門店 PABLO

優秀賞《マーケティング部門》

本福寿司



▲ 市商連新聞(第594号)に掲載



▲ 大阪あきないグランプリ授賞式での  
「本福寿司」店長 大和さん

# 2013年の福をのせて、 心斎橋の宝恵駕籠行列。

商売繁盛を祈願する今宮戎神社の十日戎は、心斎橋筋商店街でもお祭り気分が満載の一大イベント。2013年1月10日(木)、心斎橋トップレディ達をのせた宝恵駕籠が心斎橋筋商店街を練り歩き、今宮戎神社へと向かいました。午後には、参拝を終えて「福」をのせて戻ってきた宝恵駕籠が、再び心斎橋にお目見え。心斎橋トップレディとともに宝恵駕籠にのって記念撮影できるイベントも行われ、心斎橋は華やかなムードに包まれました。



## 福娘からの福笛授与で、 お店の発展と多幸を祈願。

毎年、宝恵駕籠行列の日に、今宮戎神社の福笛授与が行われています。同神社の福娘が福笛をお店に直接持参し商売繁盛を願うというもので、福を呼び込む縁起起ざと店頭にぎわいづくりに、多くの店舗が祈願を受けています。来店中のお客様にも好評の催し、ぜひ来年はご検討してみてはいかがでしょう。※ 初穂料とともに事前お申込みが必要となります。



## 夜には、4商店街合同の 宝恵駕籠行列も実施。

同日午後6時からは、心斎橋筋商店街と近隣の大丸ミナミ4商店街合同の宝恵駕籠行列が行われました。日暮れとともに戎車の提灯に灯がともった様子は何とも美しく、来街者の方々は昼とは違った趣を楽しんでおられました。



## 心斎橋筋商店街が 他商店街や百貨店と初タッグ! みんなdeミナミを実施。

大阪ミナミエリアのさらなる活性化を目指し、2012年11月21日(水)～12月4日(火)、心斎橋筋商店街および戎橋筋商店街、大丸心斎橋店、高島屋大阪店、なんばマルイが初タッグを組んだ共同キャンペーン「みんなdeミナミ」を実施しました。期間中、1千円×11枚綴りのプレミアム共通商品券を1万円で発売し、大好評のうちに完売いたしました。心斎橋筋商店街でお買物をされたお客様も多く、十分な手応えがあった取り組みとなりました。これからも、大阪ミナミを盛り上げる様々な仕掛けづくりに積極的に参加していきます。



## DATA01 心斎橋筋 来街者情報

### 2012年4月～2013年3月の心斎橋筋への来街者数は?

2012年4月～2013年3月の、心斎橋筋への来街者数は計約5,174万人となりました。対前年比で103.7%の増加となり、東日本大震災などの影響から客足はほぼ回復したといえるでしょう。月別に見てみると、梅雨時の6月、厳寒期の2月は来街者数がダウンしていますが、対してバーゲン期・夏季休暇中の7月～8月、各種イベントやバーゲン期が集中する12月～1月、春季休暇中の3月は来街者が増加しており、心斎橋筋の活況が読み取れます。

### 2012年4月～2013年3月の心斎橋筋來街者概数



## DATA02 外国人観光客の動向

### 2012年に日本を訪れた外国人数は?

2012年1月～12月に日本を訪れた外国人総数は836万8千人で、2011年比34.6%増、2010年比2.8%減となりました。東日本大震災などの影響からほぼ回復した結果と見られ、特に台湾・タイの躍進が目立ちました。中国は年間では増加傾向にあるものの、月別に見ると9月以降から団体旅行を中心とする訪日旅行需要が減少。とはいえ12月以降は北京・上海を中心に徐々に回復傾向が見られます。2013年は、中国人観光客の早期回復と東南アジア観光客への対応強化が課題となりそうです。

2012年 アジア主要5ヶ国訪日外国人数					
韓国	204万4千人	台湾	146万6千人	中国	143万人
訪日客数	23.3%UP↑	47.6%UP↑	37.1%UP↑	32.0%UP↑	79.9%UP↑

※ 日本政府観光局資料 ※ 百以下の数字は切り捨て

## 2013年4月、 国内最大級の 「H&M」オープン!

2013年4月13日(土)、心斎橋パルコ跡地に新商業施設「心斎橋ゼロゲート」がオープン。同施設の地下1階～4階に国内最大級の「H&M SHINSAIBASHI」が出店しています。同店は、レディス・メンズ・ヤング・キッズ・ママ・アクセサリーをフルラインで展開する関西地区の旗艦店に位置付けられています。これを機に、国内外からのお客様をお迎えする心斎橋筋商店街のさらなる活性化が期待されます。



3月27日(水)、「心斎橋ゼロゲート」竣工式にて撮影

## お買物熱、ヒートアップ!? 2012心斎橋de大抽選会のご報告。

2012年12月15日(土)・16日(日)、2012心斎橋de大抽選会が行われました。iPad miniやランバ780といった人気電気製品など賞品内容の魅力化と賞品数増加を図り、2日間で計8,696名にご参加いただきました。前年度は3日間開催で参加者数計9,497名という点から見ても、日平均で大幅に参加者数が増加という結果となりました。次回以降も、さらに快適にお買物と抽選を楽しんでいただける仕組みづくりに力を注いでまいります。



## Etc. その他の活動記録・報告

- 第4回心斎橋筋商店街オーナー会 2012年10月4日(木)
- 第4回心斎橋筋商店街店長会議 2012年10月22日(月)・23日(火)・24日(水)
- 第28期上期理事会 2012年11月26日(月)
- 心斎橋筋商店街新年互礼会 2013年1月8日(火)
- 第5回心斎橋筋商店街店長会議 2013年3月14日(木)・18日(月)・19日(火)



### 外国人のお買物事情。

アジア主要5ヶ国の訪日外国人の旅行中支出額(日本までのツアー費は除く)を見てみると、首位は中国で約15万5千円、韓国が最下位の約6万2千円となっています。韓国・台湾では日本がより身近で手軽な旅行先として定着しているのに対し、富裕層が主要である中国人観光客の実情がうかがえます。また、訪日外国人が最も満足した購入商品の結果は以下の表通りですが、国別では中国が「化粧品」「電気製品・カメラ」、韓国・台湾では「菓子・食品・酒など」、香港では「衣類」の割合が高くなっています。

訪日旅行中支出額 アジア主要5ヶ国比較 (1人あたりの平均値、 2012年10月～12月の調査による)	
韓国	62,307円
台湾	84,970円
中国	155,464円
香港	116,752円
タイ	85,709円

### 訪日外国人が最も満足した購入商品

衣類・ ファッショングoods 19.4%	化粧品・ 医薬品など 17.2%	菓子・食品・酒など 28.7%	民芸品・生活雑貨など 20.0%	電気製品・ カメラ その他 9.3% 5.4%
-----------------------------	------------------------	--------------------	---------------------	-------------------------------------

※ 国土交通省観光庁資料 ※ 2012年10月～11月実施 ※ 訪日外国人サンプル数7,311